

◆制度の概要

目的

東京湾等の広域的な閉鎖性海域の水質を改善するため、内陸部から流入する生活排水や産業排水等に含まれる汚濁負荷量の総量を総合的・計画的に削減する

経緯

- 昭和53年、東京湾・瀬戸内海等に水質総量削減制度を導入
- 第1次総量削減計画（目標年度：昭和59年度）から5年ごとに見直しを行い8次にわたり汚濁負荷量の削減を実施
- 第8次計画（目標年度：令和元年度）が終了したことから東京湾のさらなる水質改善を目指し第9次計画を策定

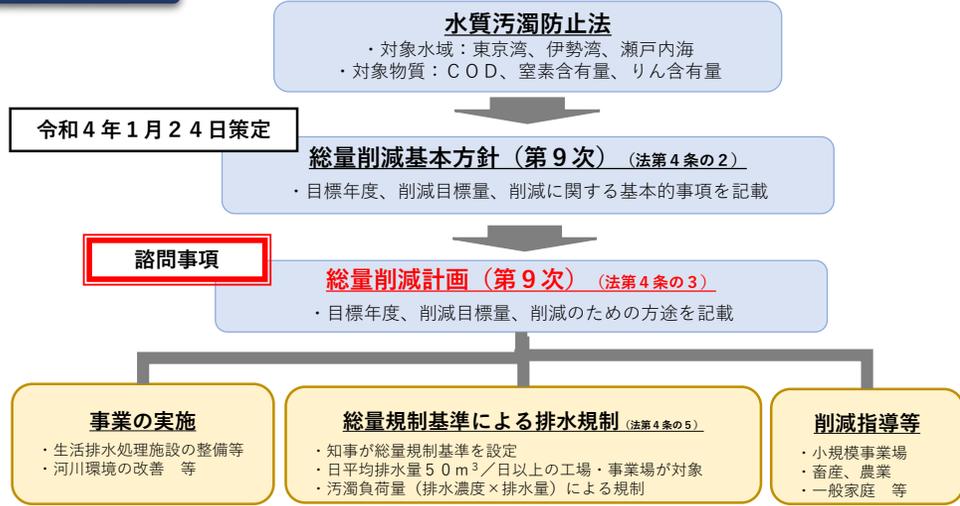
対象項目 化学的酸素要求量（COD）、窒素含有量、りん含有量

対象地域

1都3県（東京、千葉、神奈川、埼玉）のうち東京湾に流入する地域
本県は県北部の利根川流域を除く60市町村が対象



制度の体系



◆第8次総量削減計画の実績

本県の削減実績（目標年度：令和元年度）

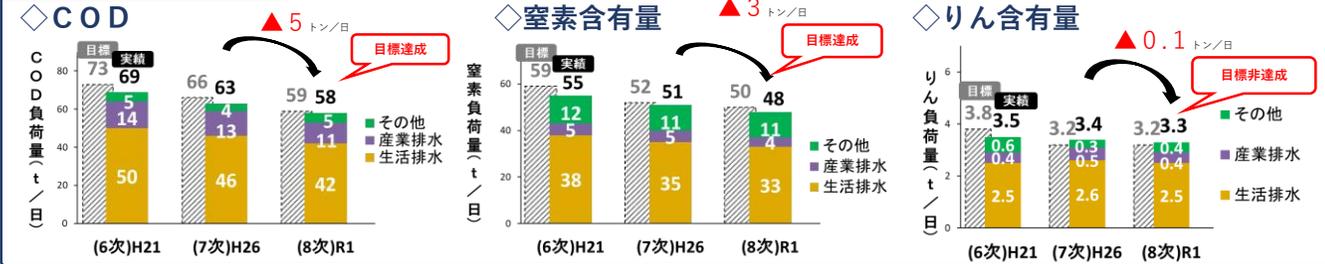
- 化学的酸素要求量（COD）
窒素含有量は目標を達成
- りん含有量は目標を非達成
- 全項目で汚濁負荷量は削減

◇汚濁負荷量の実績（令和元年度）

COD (トン/日)		窒素 (トン/日)		りん (トン/日)	
目標	実績	目標	実績	目標	実績
59	58	50	48	3.2	3.3

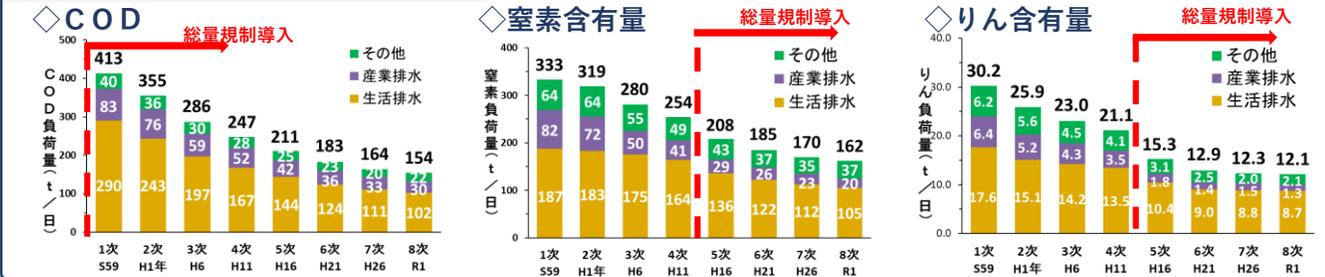
※ 達成状況は合計値で判断

汚濁負荷量の推移

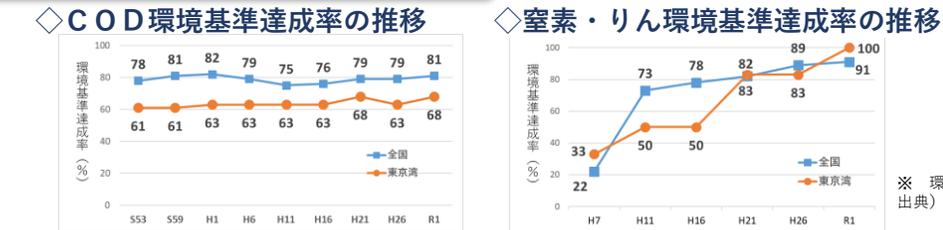


◆東京湾の水質の状況

東京湾流域の汚濁負荷量の推移



東京湾の環境基準達成率の推移



※ 環境基準達成率：達成水域数/環境基準設定水域数×100%
出典）公共用水域水質測定結果（環境省）